



フィリピン セブイカヤニュースレター

2017年 涼秋
増刊号！！

武蔵野のみなさま、こんにちは。今回は、特別増刊号としてセブ北部で活動している間看護師とヌエヴァ・ヴィスカヤで活動している高田看護師と共同でニュースレターを送ります。私たちは、海と山とで場所は違いますが同じ保健衛生支援事業に携わっています。8月末に間看護師が海を渡りヌエヴァ・ヴィスカヤの事業地を訪問しました。場所、人、環境も全く異なる事業地で事業活動の意義を再認識し、要員として活動への関わり方の大切さを学びました。



ナンシャカン村への訪問。地域保健ボランティアの想いを聞いてきました。

セブ北部では現在、地域保健ボランティアの育成を行っています。セブ島に住むボランティアが意欲を持って活動を継続していくための糸口を探すべく、山岳部ヌエヴァ・ヴィスカヤ(NV)の事業地で地域住民と交流する機会に恵まれました。「新しい知識を学べるのが嬉しい」「学んだことを家族や村のために広めたい」「地域に貢献しながら、活動しているのが楽しい」と語り、これから活動を開始するセブ北部のボランティアに応援メッセージを送ってくれたNVボランティア達のキラキラした眼差しが忘れられません。活動を継続した先には、自分達の村の健康を自らの力でより良くしようとする素敵なボランティアの存在が待っているのだと、改めてこの事業の意義を感じると同時に、セブ北部のボランティアもこんな熱い気持ちを抱き活動を続けていけるようお手伝いしていこうと強く思いました。



「初めて赤十字が来たときは、怖かった」と当初語っていたナンシャカン村のボランティアが、今では誇りをもって積極的に活動しています。忙しい中でも時間を作り集まってくれるボランティアをみて、長年にわたる活動で築き上げた事業スタッフと地域住民が生み出す力を感じました。地域を支えるボランティアと事業スタッフの深い絆、同じ目標に向かってチームワークを発揮するその姿に心を打たれました。その裏には、感謝とお互いを尊重する気持ちがあることも理解できました。間看護師が事業地に訪問したことで、地域住民と事業スタッフの強い繋がりが活動の原動力になっていることを改めて実感し、ヌエヴァ・ヴィスカヤ保健事業の成功の秘訣であることを知りました。

健康教育の普及活動の様子を見せてくれました。教え方が上手です！！

フィリピンからのお便りは、本号が最終号となります。6か月間の中で、日赤要員としてまた看護師として多くのことを学び、考える機会を得ることができました。今回の派遣を快く送り出してくださった病院の皆様に感謝の気持ちで溢れています。本当にありがとうございました。



もうすぐ
帰ります！！

ありがとう
ございます！！

文責：看護師 間 由佳、高田 亜由子

竹腰看護師(長野赤十字病院)とともに